

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成27年9月】

■調査概要（データ対象期間：平成27年9月1日～9月30日）

- 調査期間：平成27年10月1日～10月23日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業24企業、製造業24企業、卸売業17企業、小売業33企業
飲食業17企業、サービス44企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計159企業>
- 調査項目：9月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナス幅が縮小・水準DIはマイナス幅が拡大

1. 業況判断

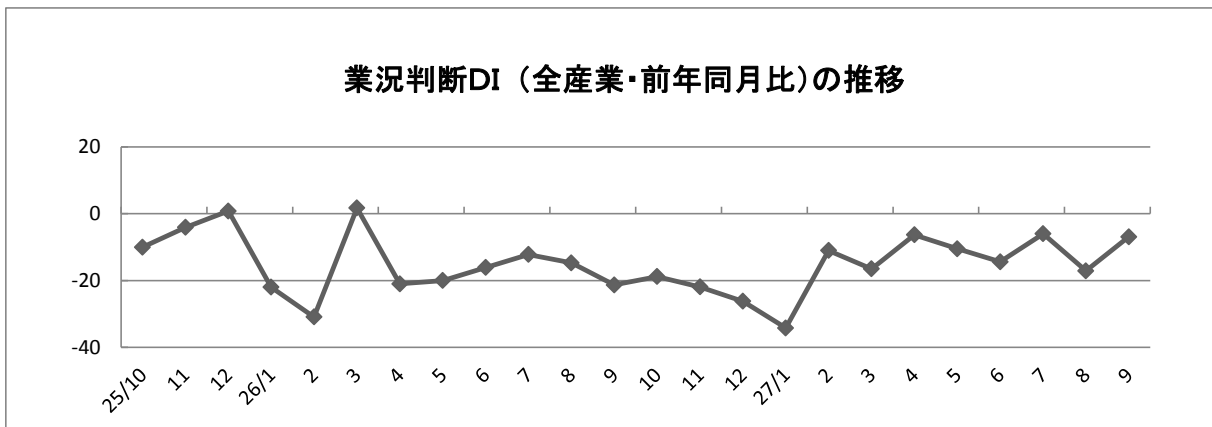
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲17.1）よりマイナス幅が10.2ポイント縮小し、▲6.9となった。業種別では、飲食業、製造業がマイナスからプラスに転じ、卸売業は横ばいとなった。小売業、建設業、サービス業はマイナス幅が減少した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲16.6）よりマイナス幅が0.4ポイント増加し、▲17.0となった。業種別では、卸売業がマイナスからプラスに転じ、製造業はプラスから0となり、飲食業は0からマイナスとなった。サービス業はマイナス幅が減少し、小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	16.4 (12.3)	60.3 (58.3)	23.3 (29.4)	▲ 6.9 (▲ 17.1) ↗	12.6 (14.1)	57.8 (55.2)	29.6 (30.7)	▲ 17.0 (▲ 16.6) ↘
建設業	4.2 (4.0)	66.6 (60.0)	29.2 (36.0)	▲ 25.0 (▲ 32.0) ↗	12.5 (12.0)	54.2 (60.0)	33.3 (28.0)	▲ 20.8 (▲ 16.0) ↘
製造業	37.5 (26.1)	41.7 (43.5)	20.8 (30.4)	16.7 (▲ 4.3) ↗	25.0 (21.7)	50.0 (60.9)	25.0 (17.4)	0.0 (4.3) ↘
卸売業	17.6 (17.6)	53.0 (53.0)	29.4 (29.4)	▲ 11.8 (▲ 11.8) →	17.6 (17.6)	76.5 (47.1)	5.9 (35.3)	11.7 (▲ 17.7) ↗
小売業	9.1 (11.1)	60.6 (55.6)	30.3 (33.3)	▲ 21.2 (▲ 22.2) ↗	6.1 (8.3)	51.5 (50.0)	42.4 (41.7)	▲ 36.3 (▲ 33.4) ↘
飲食業	23.5 (16.7)	58.9 (55.5)	17.6 (27.8)	5.9 (▲ 11.1) ↗	5.9 (33.3)	64.7 (33.4)	29.4 (33.3)	▲ 23.5 (0.0) ↘
サービス業	13.6 (6.8)	70.5 (70.5)	15.9 (22.7)	▲ 2.3 (▲ 15.9) ↗	11.4 (6.8)	59.1 (65.9)	29.5 (27.3)	▲ 18.1 (▲ 20.5) ↗

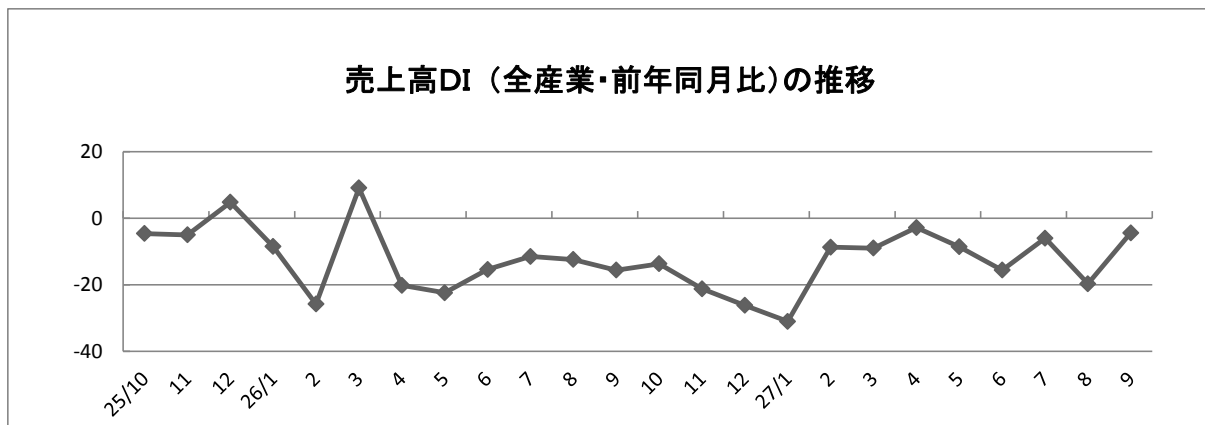
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲19.7）よりマイナス幅が15.3ポイント縮小し、▲4.4となった。業種別に見ると、卸売業、サービス業はマイナスからプラスに転じ、製造業は0からプラスとなった。飲食業はマイナスから0となり、小売業、建設業はマイナス幅が縮小した。

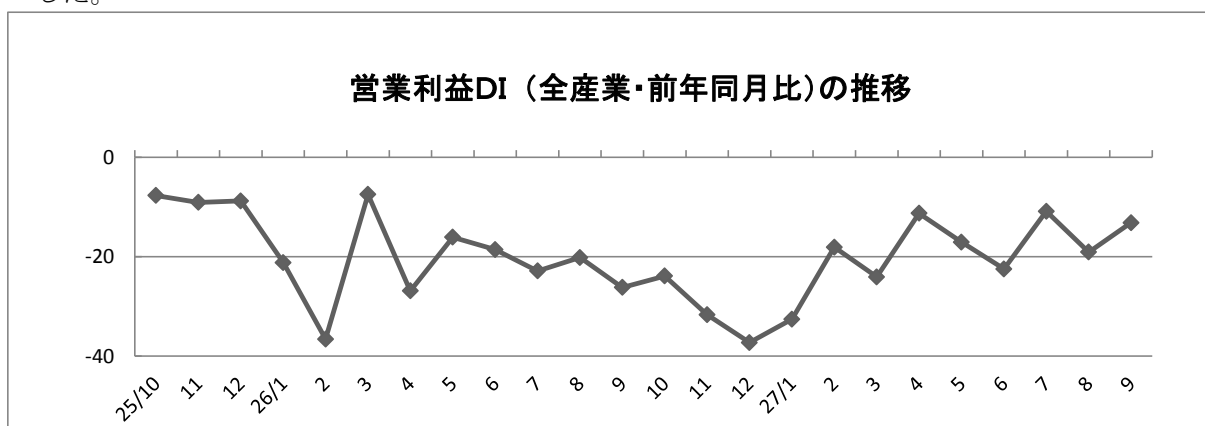


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲ 15.6	▲ 13.7	▲ 21.2	▲ 26.2	▲ 31.0	▲ 8.7	▲ 9.0	▲ 2.8	▲ 8.6	▲ 15.6	▲ 6.0	▲ 19.7	▲ 4.4
建 設 業	▲ 14.3	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 17.7	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 6.2	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0
製 造 業	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3
卸 売 業	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9
小 売 業	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1
飲 食 業	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 22.2	27.3	8.3	▲ 8.4	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0
サービス業	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2

3. 営業利益DI（前年同月比）

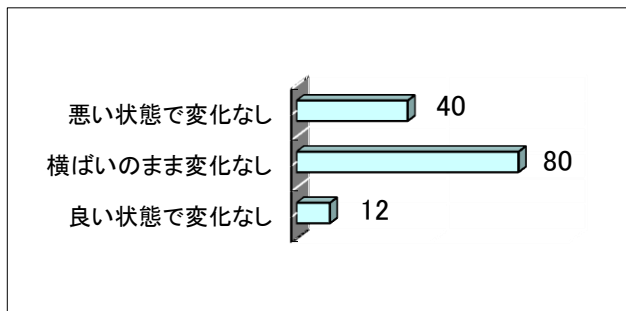
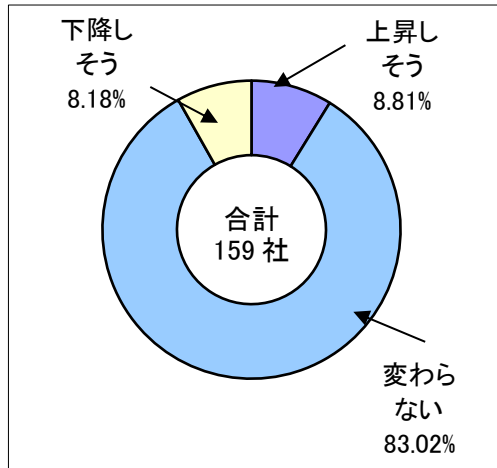
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲19.1）よりマイナス幅が5.9ポイント縮小し、▲13.2となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じ、製造業はマイナスから0となった。サービス業はマイナス幅が縮小し、飲食業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲ 26.2	▲ 23.9	▲ 31.7	▲ 37.3	▲ 32.6	▲ 18.1	▲ 24.1	▲ 11.3	▲ 17.1	▲ 22.5	▲ 10.9	▲ 19.1	▲ 13.2
建 設 業	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4	▲ 35.3	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3
製 造 業	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0
卸 売 業	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6
小 売 業	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2
飲 食 業	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 33.3	27.3	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8
サービス業	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



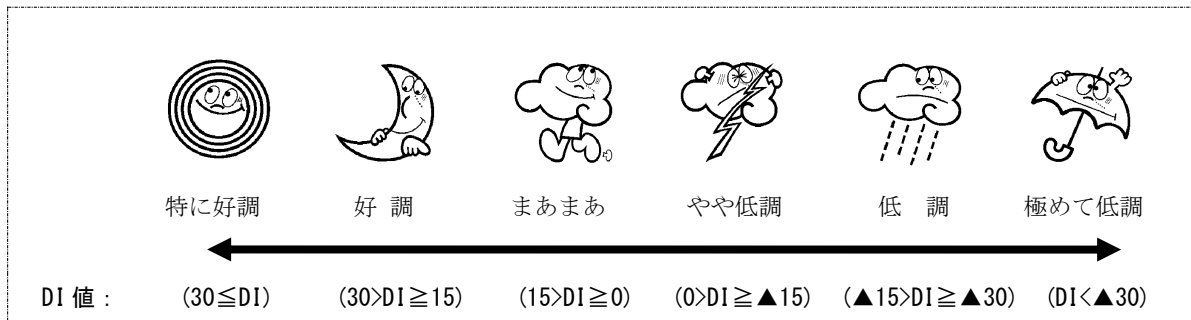
○平成27年10月～平成28年1月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ▲1.01ポイント減少し8.81%、「下降しそう」が▲2.25ポイント減少し8.18%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲12.5)、製造業(▲4.2)、卸売業(5.9)、小売業(0)、飲食業(5.9)、サービス業(6.9)であった。

➡「上昇しそう」では、「公共工事が発注しはじめたため」、「挽回は厳しいが、上昇させなければいけないため」(建設業)、「少しずつ受注が増加するため」「涼しい秋になり、日本酒の美味しい季節になった」(製造業)、「季節的要因」「年末対策のため」(卸売業)、「行動しやすい季節になるため」「取扱商品の需要期に入るため」(小売業)、「観光客の増加による波及が大きいため」「秋の行楽や忘年会シーズンとなり、期待しているため」(飲食業)、「9月補正予算に期待しているため」「テナント再開のため」「宴会予約が好調のため」「貯蓄志向が高まっているため」「例年年末に向け、上昇傾向のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

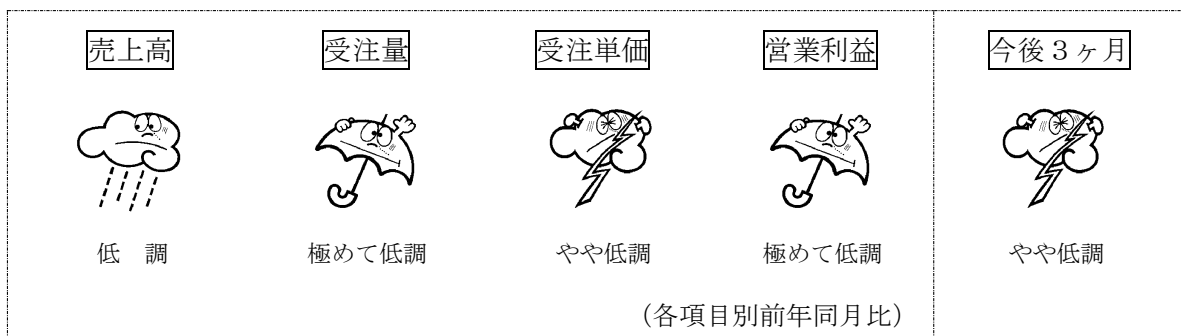
➡「下降しそう」では、「1000万以上の物件がないため」「公共及び民間の受注も少ないため」「公共事業の発注量が減少のため」「受注量が少ないため」「消費税増税、ユーロ危機、チャイナショック等、庶民の財布の紐は固くなるばかりのため」(建設業)、「材料から製品まで在庫調整が進んでいないため」(製造業)、「寒さが予想以上に早く、人出が心配のため」(小売業)、「閑散期に入るため」「婚礼組数の減少のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲14.3	▲13.4	▲6.7	▲17.7	▲37.5	▲31.3	▲6.2	▲15.0	▲16.0	▲12.5	▲30.4	▲40.0	▲25.0
受注量	▲21.5	▲33.4	▲13.3	▲47.0	▲43.8	▲31.2	▲18.8	▲15.0	▲12.0	▲20.8	▲34.8	▲36.0	▲54.2
受注単価	▲14.3	▲26.6	0.0	▲17.6	▲18.7	▲6.3	▲6.2	0.0	8.0	▲12.5	▲8.7	▲16.0	▲12.5
営業利益	▲42.9	▲33.3	▲13.4	▲35.3	▲37.5	▲31.3	▲25.0	▲20.0	▲32.0	▲33.3	▲39.2	▲32.0	▲33.3
見通し	0.0	▲6.6	0.0	▲5.9	▲6.3	6.2	6.3	▲5.0	4.0	▲8.3	8.7	0.0	▲12.5

<経営者の目・見方・etc>

- 電気工事
 - ・このところ受注量が減少気味で先行きが見えない。年末に向けて資金繰りが大変であると思われる。
- 鉄工
 - ・建設業は県外(特に関東方面)は繁忙状況にあるが、地方はそれほどでもないと感じる。我々中小企業が地方に存続し続け、地域の雇用を守る使命を感じる。長野県の同業他社を含め、多くの企業が自らの使命を自覚しなければ地域の将来はないように思う。今こそ10年、20年後の未来に向けた企業努力をしていくべきであると感じる。
- 総合建設
管工事
 - ・国からの補助金削減のあおりで公共事業の発注量が減少している。
 - ・受注量は少なくなっている。売上は遅れて精算のため、ずれてきている。今後の見通しはわからない。
- 建築工事
石材
 - ・前月より民間からの受注も少なく、年内の仕事に不安を感じる。
 - ・誰に聞いてもこの1年は非常に厳しかった。全国をまわっている商社、メーカーの営業がどこも厳しいと言っている。先の明るさがまったく見えない。デフレ不況に逆戻りである。
- 鉄工
 - ・中規模物件の出が鈍く、前年と比べると件数、量目ともに少なくなり、上向くことはなさそうだ。

2. 製造業



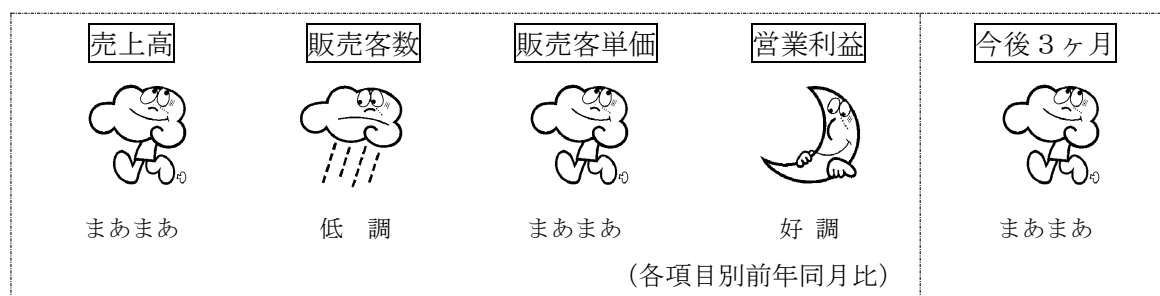
【項目別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3
受注量	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 44.5	▲ 19.0	▲ 35.0	▲ 17.4	▲ 30.0	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 27.3	▲ 5.0	▲ 17.4	4.2
受注単価	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 20.0	▲ 21.7	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 17.4	▲ 31.8	▲ 20.0	▲ 17.4	▲ 8.4
営業利益	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0
見通し	▲ 10.5	▲ 11.7	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 20.0	5.0	8.7	0.0	▲ 5.0	▲ 17.4	▲ 4.2

<経営者の目・見方・e t c>

- 小型情報機器組立 ・TPPに期待する事で、経済状況の向上に繋がればと思う。
- 菓子 ・TPPの動きと菓子業への影響(小麦粉、砂糖の関税)が無縁で腹が立つ。国へ支払う税金の何と多いことか。
- 豆腐 ・これから収穫される平成27年度の大豆は国産、輸入物どちらもまずまずの質、収穫量で価格は安定しそうだ。
- 金属塗装 ・最近は大手の製造業も「悪い」と言い出したが、中小企業はだいぶ前から「悪い」状況が続いている。今後は益々厳しくなりそうで心配である。
- 酒類 ・台風や雨などの影響も若干あったが、全体的に観光客の動きが良く、涼しくもなつて日本酒の季節を迎えた感がある。シルバーウィークもあり、人の動きも良かった。9月9日解禁のひやおろしの人気も定着したようで、日本酒に関心が向けられている。

3. 卸売業



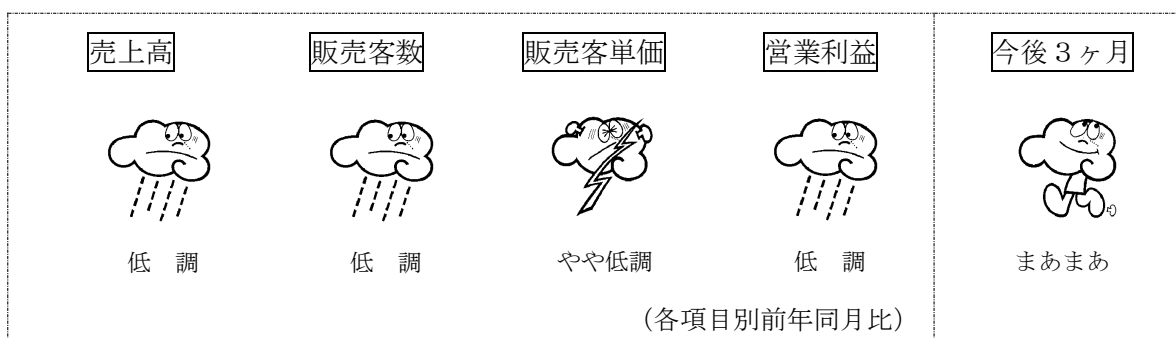
【項目別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9
販売客数	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6
販売客単価	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 12.5	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
営業利益	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6
見通し	0.0	0.0	▲ 6.3	▲ 12.5	0.0	0.0	▲ 20.0	6.3	0.0	▲ 6.3	0.0	11.8	5.9

<経営者の目・見方・etc>

- 土産品
 - ・シルバーウィークがあり、予想以上に売上がアップした。長野県内観光地、SA 他、お客様より「良かった」との意見があった。
- 機械工具
 - ・昨年は売上が良かったため、今年は悪く感じる。良くもなく、悪くもなく、はっきりしない状態が続いている。
- 金属製品
 - ・首都圏物件含め、案件情報は出てきている。地方は大型物件ではないが、年未年始にかけて中・小物件が決まり始めている。
- 青果
 - ・天候にも恵まれ、松茸が豊作となったこともあり、売場が活性化した。果物はリンゴ・梨等が前進出荷した分、9月は全体的に品不足となった。春から夏の天候の影響が見られた。
- 機械工具
 - ・売上UPは新規取引先が増えたため、全般的には低調で先行き不透明である。
- 製菓材料卸売
 - ・輸入食材の値上げが引き続いている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1
販売客数	▲ 44.5	▲ 42.4	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 41.4	▲ 30.8	▲ 40.0	▲ 12.1	▲ 5.7	▲ 24.3	▲ 10.3	▲ 30.6	▲ 27.2
販売客単価	▲ 33.3	▲ 11.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 31.1	3.8	▲ 13.3	▲ 6.0	▲ 2.9	▲ 16.2	▲ 12.8	▲ 22.2	▲ 12.1
営業利益	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2
見通し	▲ 3.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	6.9	3.9	6.7	6.1	2.9	2.7	▲ 7.7	2.7	0.0

<経営者の目・見方・etc>

陶磁器

・お盆以降、残暑こそなかったが、不安定な天候が続き、街の人出は今ひとつだった。シルバーウィークの期間だけは晴天に恵まれ、それまでの不調を挽回し、平年並みの実績で終えることができた。小売店が廃業・縮小し、その後に飲食店が開業する傾向が続いている。他の地方都市であれば空き店舗となるところなので街としては助かっている。

観光物産
パン

・シルバーウィークで賑わったが、月末は減少した。
・シルバーウィーク前の対応、仕込みなど、せわしく仕事に追われたが、悪くない月だった。休みが多く、業界によって明暗が分かれるのではないかな。

薬局

・テレビを見ていると、災害を必要以上に大げさに報道しているように見える。毎日災害や凶悪犯罪の報道ばかりで、日本中がウツ状態になっているように感じる。もう少し元気が出るような番組に出来ないものかと思う。

住宅機器
印章

・涼しくなり、外出する方も多くなった。花粉症や風邪の症状のお客様が来店し、忙しかった。

・メーカー、ショールームへの来場が増えてきたようだ。

・印章アドバイザーとして、総務省に全国で120名程が届出され、松本では数名が携わっている。松本市と連携し、印章に係わる歴史・正しい印章文字・役割・印材の種類・実印・出来合・銀行・法人印の違い・手彫りと機械彫りの違い・朱肉・落款印の約束事・印鑑登録条令等の啓発活動をしている。
・松本山雅のホームゲーム、映画「orange」のロケ、松本城公園で各種イベント、シルバーウィーク等、今年の9月は例年になく慌ただしかったように感じる。

石油製品販売

・取扱商品の価格の変動が不確定なため、予想が難しく、価格決定に苦慮しており、販売先に苦戦している。

菓子

・松本、安曇野地域、松本城が、人気があり観光客が多かった。バター不足が深刻で、包装消耗品等の価格も高くなっている。消費税増税、マイナンバー制度はもう少し時間をかけた議論が必要。小商店、零細企業は対応できず混乱する。

生鮮食品

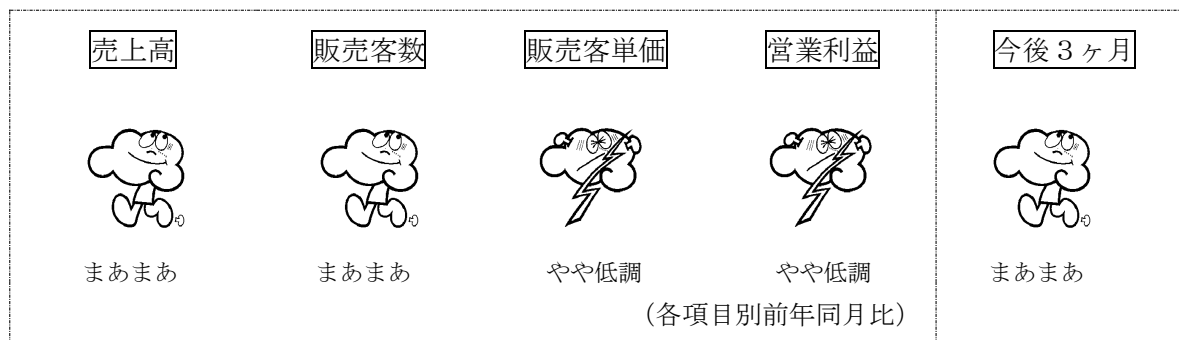
・前半は雨ばかりで静かだった。連休また秋祭りがあり、忙しく終われば売上は良かったが、今年は仕入れ値が夏のまま下がらない。

書籍

・大型店のテナントで入っていた2軒が撤退した。他のも撤退の噂があり、テ

ナントの経営も大変なようだ。消費支出が回復する政策の実施が待たれる。
 ・売上が伸びず、苦戦が続いている。集客のできる企画を立て頑張りたい。
 ・連休は暇になる。急なパンクやレッカーなどはあるが、客数は少ない。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 22.2	27.3	8.3	▲ 8.4	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0
販売客数	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 11.1	36.4	8.3	0.0	6.7	▲ 7.1	▲ 6.2	0.0	0.0
販売客単価	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 18.2	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 5.9
営業利益	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 33.3	27.3	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8
見通し	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 27.3	0.0	36.4	16.7	16.7	▲ 6.6	14.3	12.5	▲ 22.2	5.9

<経営者の目・見方・etc>

そば

・9月全体で見ると夜の宴会も少なく、前年並みだったが、シルバーウィークの集客がゴールデンウィーク並みにあり、良い月であった。

中華料理

・シルバーウィークで多くの観光客が来松したが、期待した程の売上はなかった。サマーフェス、ビアフェス、ワインサミットと飲食イベントが目白押しで、街に人が出て賑やかになったが、一極集中に対抗するのが大変である。街の個人飲食店主の思いを聞いてみたいものだ。

仕出し料理

・依然として売上は伸び悩み状態である。唯一の励みは、お客さまからの「美味しかった」とのお褒めの言葉である。

郷土料理

・観光客減少の現状が続く中、シルバーウィークの連休が最高の盛り上がりになり助けられた。

寿司

・魚類等の値上がりが止まらない。はるか遠い海の向うの「チリ」での大地震が起きると日本まで津波が来るという事で漁をする船がだせない。秋雨前線の大雨で荒れ込む湾で、真水と海水の割合が変わってしまうためウニが死んでしまう等、値上がりの理由がある。

・前月より全てが低調である。

・大型連休の集客力はやはり大きいと感じた9月であった。次回のシルバーウィークは2026年と聞くと、特に旅料飲食業界にとって大型連休の有無は大きく業績に影響する要因であり、その点も考慮した今後の政策に期待したい。

料理






・市の中心部では大規模なイベントが続き、賑わっているようだが、そのため一般客の来店減少が目立つ。市の中心部でのイベントも考えようである。

・松本地方は食材の豊富な秋を迎え、きのこ(松茸)を始め、ここでしか食べられない料理を目的に来店されるお客様が多くなるように努めている。

レストラン

・新しい店で頑張っている店もあるが、マンネリ化している店もある。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	やや低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	26年9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2
販売客数	0.0	▲ 21.2	▲ 15.0	▲ 21.6	▲ 25.0	▲ 11.4	▲ 2.5	12.2	2.1	▲ 14.9	4.0	▲ 25.0	0.0
販売客単価	▲ 5.4	▲ 6.1	▲ 10.0	▲ 5.4	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 2.5	4.9	0.0	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 18.2	6.8
営業利益	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7
見通し	0.0	▲ 6.1	▲ 2.5	0.0	2.7	14.2	0.0	2.5	▲ 2.0	0.0	10.0	9.1	6.9

<経営者の目・見方・e t c >

温泉旅館

- ・8月後半から9月前半までは、ぐずついた天候に悩まされた。登山客、日帰り客を中心に入り込みは前年を下回った。後半は天候に恵まれ、シルバーウィークもまずまずの入り込みとなったため、前年並みとなった。連休にもかかわらず、相変わらず外国人が増えている。
- ・9月も好天に恵まれ、宿泊数が増加した。観光の他、スポーツの秋ということなのか、スポーツ団体の宿泊も多く感じられた。
- ・前年と比べシルバーウィークの間の売上が良く、好結果となった。大震災を底に右肩上がりに戻りつつある。

旅館

- ・シルバーウィーク中、沢渡の駐車場はお盆よりも混み合った日があったようだ。

宿泊

- ・予想はしていたが、シルバーウィークの上高地への入り込みはすごかった。

ホテル

- ・シルバーウィークにより、宿泊・レストランが好調に推移した。
- ・宿泊人数、客室稼働率とも良好。昨年末より停滞気味だった宴会需要もようやく戻ってきた感がある。

獣医

- ・お盆以後、例年と同様で患者数が減少した。手術数が少なかった分売上も減少した。最近、トリミングサロンでの歯磨き、歯のおそうじレベルが歯石除去という表現の広告でセンセーショナルな話題となっている。

タクシー

- ・シルバーウィークがあり、客数は多少増えたが、売上は前年並みであった。

美容

- ・シルバーウィークに期待していたが、出かける人が多かったようで予想以上に静かな連休であった。

理容

- ・全般に9月は状況が悪かった店が多く感じられた。何故か9月は売上が伸びな

不動産賃貸

マッサージ

写真撮影

機械設計

ソフトウェア

自動車整備・板金塗装

介護サービス

ペットサービス

保険

い。

・シルバーウィークの売上が顕著であった。(5月のGWより良かった。)

・テナント建て替えで3月～11月まで収入なし。

・安売りの店が増えてきたが、顧客の流出は感じない。安さを求める人と、サービスの質を求める人の二極化を感じる。

・運動会、シルバーウィーク、イベントと写真を撮る機会は沢山あり、それなりにシャッターを切っているはずなのだが、画面上で楽しみ、写真に焼き付けることをしない状況が定着して来ている。

・関西方面の仕事がこちらにも流れてきている様で忙しい会社もあるようだが、地元は不透明である。

・旧システムを新しい情報基盤を用いて置き換える動きがある。ただ、コストをかけてもできあがったものが旧来の運用を満たすだけのものであれば投資に見合わない。ユーザーにも将来性のあるシステム化提案かどうかを見極める目を養ってほしい。

・原油安で、良い影響がでている様に感じる。

・年収の多い人は8月から介護サービスの自己負担が1割から2割になった。介護離職者ゼロを実現するというが、かえって離職せざるを得ない家族を増やすのではないか。また、4月の介護報酬引き下げにより、経営難に陥った事業所の廃業、休業、身売りが大きな問題になっている。

・来店数、売上高ともに前年並みだった。高品質なドッグフードの動きが目立ってきた。ドッグフードも安心・安全が求められている。

・旅館・ホテル等の宿泊施設の稼働率が高そうである。他の商業も売上が微増しているようだ。

